

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公開番号】特開2019-2835(P2019-2835A)

【公開日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-001

【出願番号】特願2017-118777(P2017-118777)

【国際特許分類】

G 01 D 5/12 (2006.01)

G 01 B 7/00 (2006.01)

【F I】

G 01 D 5/12 N

G 01 B 7/00 101H

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月20日(2019.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

バイアス磁界を発生させる磁石(106、120)と、前記バイアス磁界が印加される検出素子(124)と、を有し、磁性体で構成された検出対象(200)の移動に伴って前記検出素子が前記検出対象から受ける磁界の変化に基づいて、前記検出対象の移動方向に沿って一方向に並んだ複数の範囲に対応すると共に位相差が異なる複数の検出信号を生成する検出部(122)と、

前記検出部から前記複数の検出信号を取得し、前記複数の検出信号と閾値とを比較し、前記複数の検出信号と前記閾値との大小関係の組み合わせに基づいて、前記複数の範囲のいずれかの範囲の位置として前記検出対象の位置を特定する信号処理部(123)と、を備え、

前記検出対象は、前記複数の範囲に対応する複数の領域部(201～204)を有し、前記複数の領域部は、前記検出対象のうち前記検出部が対向する検出面(205)の面内で前記検出対象の移動方向に階段状に接続されて構成されており、

前記検出部は、前記検出対象の移動方向における幅が、前記複数の領域部のうちの最小の領域部の幅よりも短い幅に構成されているポジションセンサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

磁石(207)を含んで構成された検出対象(200)の移動に伴って前記検出対象から受ける磁界の変化に基づいて、前記検出対象の移動方向に沿って一方向に並んだ複数の範囲に対応すると共に位相差が異なる複数の検出信号を生成する検出部(122)と、

前記検出部から前記複数の検出信号を取得し、前記複数の検出信号と閾値とを比較し、前記複数の検出信号と前記閾値との大小関係の組み合わせに基づいて、前記複数の範囲のいずれかの範囲の位置として前記検出対象の位置を特定する信号処理部(123)と、を備え、

前記検出対象は、前記複数の範囲に対応する複数の領域部（201～204）を有し、前記複数の領域部は、前記検出対象のうち前記検出部が対向する検出面（205）の面内で前記検出対象の移動方向に階段状に接続されて構成されており、

前記検出部は、前記検出対象の移動方向における幅が、前記複数の領域部のうちの最小の領域部の幅よりも短い幅に構成されているポジションセンサ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そして、検出対象は、複数の範囲に対応する複数の領域部（201～204）を有している。さらに、複数の領域部は、検出対象のうち検出部が対向する検出面（205）の面内で検出対象の移動方向に階段状に接続されて構成されている。検出部は、検出対象の移動方向における幅が、複数の領域部のうちの最小の領域部の幅よりも短い幅に構成されている。